

本庄早稲田・リサーチパークニュース 2013.9

本庄早稲田まちづくり加速！ —「ベisiaゲート本庄早稲田」オープン!!—

本庄早稲田駅北側駅前に、ベisiaとしては埼玉県内最大級のショッピングモール、「ベisiaゲート本庄早稲田」がオープンいたしました。ベisiaゲート本庄早稲田の「ゲート」とは、新幹線や高速道路等が交わる交通の要所である本庄早稲田の玄関口であり、埼玉県の北の玄関口に位置する商業施設として命名されました。

「ベisiaゲート本庄早稲田」には、カインズホーム、ベisiaスーパーセンター、ベisiaワールドスポーツの3店が店舗を構え、6月28日には、オープンセレモニーが行われました。

敷地内には、テナントとしてスシローが7月31日にオープンし、蔦谷書店(Tully's Coffee併設)が秋ごろオープン予定です。さらに、スシローの西側にも複数の飲食店の誘致を計画しており、ここでは太陽熱を活用した空調システムの導入も計画しています。また、今回のベisiaゲート本庄早稲田では、本庄スマートエネルギータウンプロジェクトの提案や埼玉県の本庄エコタウンの選定を受けて、環境対応型の大型商業施設として、さまざまな環境対策の取り組みを行っています。

来年度、J Aひびきの本社屋の完成が予定されており、本庄早稲田の杜のまちづくりが一層加速されることが期待されます。



節電・省エネ

- ①太陽光発電：47kwの太陽パネルを屋上に設置
- ②LED照明：ほぼすべての照明をLED照明
- ③高効率ガス空調機



【ベisiaゲート本庄早稲田の概要】

- 敷地面積 78,222 ㎡ (モール全体)
- 店舗数 3 店舗
- 営業面積 約19,000 ㎡
- 建物構造 鉄骨平屋建て
- 駐車台数 1,500 台



CO₂削減

- ①アスファルト遮熱塗装
- ②屋根の遮熱塗装
- ③電気自動車用急速充電器の設置

リサイクル・環境

- ①油吸着材による排水浄化
- ②微生物の活用による排水浄化

災害対策

- ①本庄市とカインズの防災協定：
緊急災害時に物資や人の援助
- ②停電時発電設備：
9時間(67kw)の電気の供給



公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465
<http://www.howarp.or.jp/>

いよいよ最終年度！ 本庄スマートエネルギータウンプロジェクト

本庄早稲田のまちづくりとともに歩んできた本庄スマートエネルギータウンプロジェクトは3年の実施計画の最終年度を迎えました。

これまで会員企業の皆様を中心に、行政や一般企業、市民の皆様にも多大なご支援をいただき、様々な計画を実現に向けて進めてまいりました。その中でもこれまでにプロジェクトからも様々なご提案を行ってまいりましたベイシアの大型ショッピングモールが本庄早稲田駅前にオープンし、本庄早稲田のまちづくりが今まさに大きな展開を迎えています。

■平成25年度本庄スマートエネルギータウンプロジェクト総会

6月11日に開催された平成25年度本庄スマートエネルギータウンプロジェクト総会では、これまでのプロジェクトの成果と今後の展開について報告がなされました。小野田委員長からはビジネス化の観点に基づき、エネルギーサービスについての取り組みについての現状が報告され、それらが本庄早稲田地区のみならず他の地域への展開もおおいに期待されるものであることが示唆されました。早稲田大学高口洋人教授からは(株)博報堂との共同研究であるアンケートに基づいた理想のまちづくりとそれらを本庄早稲田地区で実現させるための今後の取り組みについて提案がなされました。また、早稲田大学後藤春彦教授からはこれまでの経緯をたどりつつ、プロジェクトの原点に戻り、「孫子の代まで引き継げるまちづくり」をコンセプトに次世代都市のあるべき姿など様々な提案をいただきました。



会場の様子



小野田弘士委員長



後藤春彦教授



高口洋人教授

■今年度の新たな展開

プロジェクトでは、今年度新たにICT情報インフラ関連WGならびに交通・モビリティシステムWGが本格的に始動しており、会員企業、行政ならびに関係者の間で活発な情報交換が展開されています。今後は、埼玉県や本庄市との連携をより一層深め、多数の会員企業参画のもと様々な計画の実現が期待されます。また、早稲田大学と連携したイベントや講演会も計画されており、最終年度を迎えたプロジェクトは大きな盛り上がりを見せています。

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会

2012年の活動と今後の方針

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会は、早稲田大学と地域企業、行政機関の連携による次世代モビリティ技術や環境・エネルギー技術の研究を目的に設立しました。2012年度からは早稲田大学との共同研究に加え研究会に参加する会員企業の経営目標の達成や技術課題の解決を支援する活動にも取り組み、そのなかから研究開発などのプロジェクト化に努めました。

このような活動の基盤をつくるためにものづくり大学や(公財)大田区産業振興協会の協力を得るとともに会員企業との研究会運営について意見交換を通じて、2012年度は主に次のような活動を展開しました。

①イベントの開催

- ▶ものづくり大学との交流・施設見学会

②展示会への出展

- ▶第17回おおた工業フェアに出展（会員企業7社）
- ▶電気自動車技術展2012、彩の国ビジネスアリーナ、埼玉北部技術交流展などにも出展

③商談会への参加

- ▶第45回、46回モノづくり受発注大商談会 in 大田への参加

④出前セミナーの開催

- ▶会員企業個々の具体的な関心にマッチした講習会や研修会の開催。2012年度は3回開催

⑤ものづくり大学による技術相談など

- ▶ものづくり大学研究情報センターの協力を得て、技術相談や技術研修を行った。

⑥公的支援の活用

- ▶経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」、新エネルギー・産業技術総合開発機構の「新エネルギーベンチャー技術革新事業」などへの事業提案や体制づくりの支援

⑦情報提供

- ▶講演会や公的支援事業などの情報をメールマガジンで配信



ものづくり大学との交流会



モノづくり受発注大商談会 in 大田

この他、大田区産業振興協会のモノづくり受発注サービスへの登録、外注先の紹介など会員企業の要望に応じた様々な活動を展開しました。2013年度は2012年度の活動を土台に会員企業へのサービス提供の拡充を図ります。

当財団は「北関東の連携拠点」を目標に早稲田大学やものづくり大学をはじめとした関東圏の大学との連携、産業振興に熱心な市区町村や産業支援機関などとの協力関係を広めていきます。この連携・協力関係を基盤に会員企業の目標達成や課題解決への様々な資源の提供や技術開発プロジェクトの推進を幅広く支援できる体制づくりを目指します。

本庄早稲田塾

～新任管理監督者研修、生産管理入門研修を開催～

■新任管理監督者研修

6月26日(水)と27日(木)の二日間連続にわたって開催した「新任管理監督者研修」では、新たに管理職になられた方など35名が参加。グループ討議などを通して部下の指導や育成、マネジメントとコーチング、リーダーシップやコミュニケーションなどの取り組み方などを学びながら意見交換し、指導力の向上を目指しました。



グループ討議の様子

■生産管理入門研修

7月16日(火)・23日(火)の二日間にわたって開催した「生産管理入門研修」では、実務担当の方など18名が参加。部品の発注から納入、生産、そして出荷まで、一連の生産活動で非常に重要となる生産計画・統制・管理などについて学びました。

グループワーク形式の演習体験では実際に部品の組み立てを行い、生産ラインや作業のどこに問題があるのか、何を改善すれば生産性が向上するのかなど、専門的かつ実践的な内容を熱心に議論されました。



グループワークの様子

■今後の予定 ～ぜひご活用ください～

計数感覚向上研修 9月上旬	採算分析の基礎を習得し、採算性を考えながら行動するポイントをつかむと共に、財務諸表の分析を通じて自社の問題を発見し、「改善案を立案」するスキルを養います。
段取り力向上研修 10月中旬	“仕事の効率化”を高めるために、自分自身の仕事の進め方を見直し、「段取り良く仕事を進めていくためのスキル」を学びます。
クレーム対応研修 12月上旬	企業へのクレームは複雑・多様化し、対応次第では企業の経営・業績に大きな影響を及ぼします。クレームを“企業のプラス要素”として捉え、「顧客の信頼獲得」と“新規開拓”に活かせる方策を体得します。
幹部候補育成研修 2月中旬	企業を背負って立つ中堅社員のモチベーションやチャレンジ精神を向上させると同時に、「仕事の管理」や「問題解決能力の向上・リーダーシップ・後輩育成指導」を学びます。

いずれも ●会場：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター

●受講料：1日あたり5,500円（テキスト代を含む）

募集などの詳細につきましては、当財団HP等で順次お知らせいたします。

経営はワセダで学べ

第3期早稲田若手経営者ビジネススクール開催中

「大企業は恐竜であり、中小企業は哺乳類」 ～生業活かしたイノベーションで勝機をつかめ～



(株)田代合金所 田邊豊博社長

今回のレポートは、7月24日（木）に早稲田キャンパスで行われた第3回テーマ「中小企業におけるイノベーション経営」の講義内容です。ゲスト講師に「勇気ある経営大賞」に輝いた(株)田代合金所 田邊豊博社長を迎え、市場が縮小による経営危機の状況において、生業である鋳物技術の強みと芸術的センスを活かした新素材・新建材へのビジネス展開の道のりを、中小企業のイノベーションという視点からお話頂きました。そのなかで田邊社長は、大企業と比較して経営リソースが乏しい中小企業が生き残るには、「恐竜と哺乳類」を例えて、社会環境への対応性、コミュニケーション、スピードを挙げました。そしてこれらの優位性を活かして新素材の開発や新たなマーケットへの進出、さらにグローバル展開へと自ら陣頭に立ちイノベーションを実践してきた経験を受講生に伝えました。授業は極めて論理的で中小企業の視点で進められ、その後のディスカッションでは活発な質疑や議論が時間一杯まで

続きました。田邊社長には厚く御礼を申し上げるとともに、今後の受講生の成長にも期待します。

次回ゲスト講師は、今話題の「下町ボブスレー」のリーダー、(株)マテリアル 細貝淳一社長が登場します！

■早稲田若手経営者ビジネススクールとは？

成長目指す若手経営者が都の西北早稲田キャンパスへ集結！埼玉県を中心としたものづくり中小企業の振興を目指して、早稲田大学と連携した若手経営者育成のためのビジネススクール「早稲田若手経営者ビジネススクール」がスタートして本年度で3期目を迎えました。本年度も8人の若手経営者ならびに幹部社員等が早稲田キャンパスに集結して白熱した授業が進んでいます。統括指導は早稲田大学で中小企業経営の第一人者 鵜飼信一教授とテーマごとに今注目の若手経営者をゲスト講師でお迎えして、実践的な経営論を学びながら皆でディスカッションし、1年間を通じて自らの経営課題について解決策を導く実践型のビジネススクールです。



「第2回 IOC本庄早稲田入居者交流会」を開催しました ～起業家・個人事業者・中小企業支援の新たな展開に向けて～



クレア法律事務所 鈴木理晶弁護士の講演

2013年8月1日(木) 午後5時より、IOC本庄早稲田入居企業と、本庄早稲田ビジネスプラットフォーム(BPF) 会員企業を対象とした「第2回IOC本庄早稲田入居者交流会」を開催いたしました。今回で2回目をむかえた、本交流会の特徴は、IOC入居者および本庄早稲田BPFの会員企業様のビジネス促進と企業間のネットワーク拡大が狙いとなっています。第一部の講演会では、弁護士 鈴木 理晶先生(弁護士法人 クレア法律事務所)を講師にお招きし、「中小企業・個人事業主・起業準備者向け～会社経営に役立つ法律知識について～」と題して講演して頂きました。多くのベンチャー支援をされてきた鈴木先生のご経験から、実務的な契約のチェックポイントを解りやすく解説していただき、参加企業からは係争に

発展しやすい商取引、労務での活発な質問があり、本財団ならではの、有意義な講演会になりました。第二部の懇親会では、引き続き鈴木弁護士、財団職員も加わり、入居企業およびBPF会員企業合わせて35人となりラウンジが狭く感じられるほどの盛会になりました。次回も、早稲田大学などとの連携を活用しながら、入居企業様・会員様へ満足度の高いサービスや情報提供をできるような企画をいたしますので、どうぞご期待ください。なお、インキュベーション施設「IOC本庄早稲田」および、レンタルオフィス会員の詳細ならびに活動内容につきましては、以下URLをご覧ください。講演終了後に交流会を行います。

<http://www.ioc-waseda.jp/about/>



行政関係者・財団も加わって盛会に終わった懇親会

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)事業 ～「新エネルギーベンチャー技術革新事業」採択される～

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会会員企業(株)ファインテックでの北関東グリーンプラント実証実験成果の展開として、地域エネルギー源としての食品残渣や家畜糞を利用してバイオマス燃料を生み出す技術開発にあたり、2013年度NEDO事業「新エネルギーベンチャー技術革新事業」へ申請を行い、採択されました。

●連携機関	(株)ファインテック、早稲田大学
●協力機関	本庄早稲田「食の安心＆安全・いちばの会」会員企業など (高橋ソース(株))、(株)味輝、もぎ豆腐店(株)、ヤマキ醸造(株)、松田マヨネーズ、(株)ウエイ、大畠畜産)
●取り組み内容	「多種未利用バイオマスに対応したニュートレファクション(半炭化)技術開発」 含水率の高い食品残渣や家畜糞等を付加価値のあるバイオマス循環原材料として再生エネルギー化するために、安全で、熱伝達効率が良く、環境負荷が少ない「過熱水蒸気による半炭化技術」を確立し、製品化します。

農林水産省事業

～「都市農村共生・対流総合対策交付金」採択される～

本庄早稲田「食の安心＆安全・いちばの会」の活動や農水省委託研究事業「アグリエクササイズ」の成果をもとにし、本庄地域の住民と首都圏住民との農作業や体験活動を通じて交流を深め、健康な生活へと繋げる活動として、2013年度農水省事業「都市農村共生・対流総合対策交付金」へ申請を行い、採択されました。

●連携機関	早稲田大学、本庄早稲田「食の安心＆安全・いちばの会」、NPO早稲田環境市民ネットワーク、(株)JTB関東等
●協力機関	本庄市、美里町、上里町、神川町等
●取り組み内容	「食」を活用した観光と連携したグリーンツーリズム、及び「農」を活用した医療・副産物との連携。農・食・健康を通じた地域活性化と健康アグリツーリズムを構築し、本庄地域住民と首都圏住民との農作業や料理教室などの地産地消体験、食品加工所の見学等を通じて交流を深め、健康な生活へと繋げる活動を目指します。

本庄早稲田の杜 里山塾2013の開催

7年目を迎えた里山塾の講座（全8回）が5月25日（土）に始まりました。1回目の講座は『循環型社会と里山』をテーマに大堀聡先生（早稲田大学創造理工学部非常勤講師）にお話をいただき、実際に大久保山散策を行いました。浅見山のオオタカの



営巣状況（今年は抱卵までは確認されましたが孵化には失敗しました）やノスリの営巣やキンランの花を見つけることができ、参加された女性からは「のんびりと歩くことはとてもいやされます」と感想をいただきました。



また、2回目はサツマイモ作付けを行い、3回目は大久保山の歴史について学びました。

次回9月21日は、これまで講師をお願いしていました高野孝子さんが主宰しているエコプラスの活動を新潟県南魚沼市清水地区へ見学にいきます。清水地区で取り組まれている生物多様性の活動の見学やブナ林で活動を行う予定です。

なお、12月21日（土）には、追加公募し、塾生の皆さんと風景や里山歩きを楽しみながら『落葉かき』を企画しています。興味・関心がある方は事務局までご連絡ください。

川の生きものみつけ隊 ～里川保全活動～

6月1日(土)と7月6日(土)、地域の川に親しんでもらうために、「川のいきものみつけ隊～里川保全活動～」を本庄市に流れる男堀川(本庄キャンパス付近とシルクドーム付近)で行いました。

今回のイベントは、埼玉日本電気株式会社、本庄早稲田まちづくり活動勉強会と当財団の共催により開催したものです。埼玉県環境科学国際センターや本庄県土整備事務所の方々に「川の生き物や川の治水等」の講話と水質調査の指導を受けるとともに、親子で川の清掃や網で生きもの捕獲をしました。ドジョウやメダカ、コイなどが獲れ、参加された保護者からは、「親子で参加できて楽しかった」「自然に触れあうことが少なく、良い経験になった」などたくさんの嬉しい感想を頂くことができました。

10月6日(日)に3回目の調査を男堀川の本庄早稲田駅付近で予定しています。興味がある方は、お気軽にお問合せください。

■問合せ先：地域連携支援部

TEL：0495-24-7455 FAX：0495-24-7465



環境学習授業 本庄南小学校訪問



当財団では、本庄市内の小学校を対象に環境学習授業支援を行っています。6月26日(火)に本庄市立本庄南小学校(5年生82名)にて、NPO 早稲田環境教育推進機構 和田翔太氏を講師に招き自転車発電授業を行いました。

自転車発電機を漕いで扇風機、ドライヤー、ファミリーコンピューターなど5種の電力消費量を体感してみました。電気が付いたときはビックリするほどの歓声があがりました。また、省エネについて考える良いきっかけとなりました。



夏休みワクワク実験教室

早稲田大学本庄キャンパスでは、夏休みの3日間を利用して、小中学生を対象に、本庄早稲田の杜こどもサマーセミナーを開催しました。7月20日（土）の「夏休み親子スーパーサイエンス教室」では、鉛筆で書いた字をなぞると音がでる楽器を作る講座など4講座、7月28日（日）の「子ども未来実験教室」では、電線やアルミ箔を使って簡単なラジオ受信機を作成しラジオの仕組みを理解する講座など6講座行いました。

また、8月3日（土）の「本庄ユニラブ2013」では、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた実験でミニチュアカーを走らせる講座など12講座を行いました。

3日間の22講座に小中学生約330名が参加しました。各講座を体験した子どもたちは、新しい発見に目を輝かせ、驚きに満ちた笑顔を見せていました。サマーセミナーを通して、ものづくりの楽しさや科学に対する興味や関心を持っていただけたのではないかと思います。



夏休み親子スーパーサイエンス教室

[主催] 早稲田大学本庄高等学院

プログラム

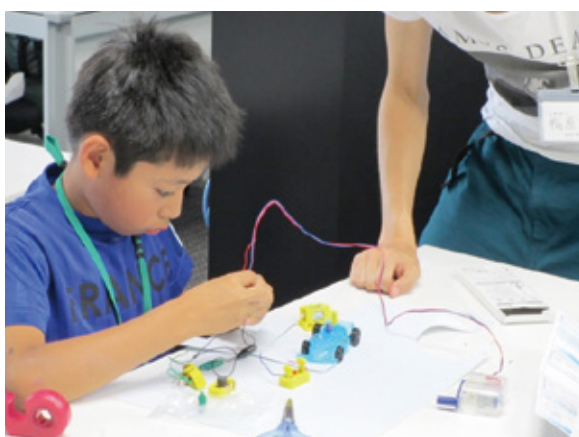
- ・電子部品でふしぎな楽器を作ろう
- ・いろいろなひこうきをつくってとばそう
- ・はんだ付に挑戦しよう

子ども未来実験教室

[主催] 早稲田大学大学院国際情報通信研究科 ほか

プログラム ※午前と午後同じプログラムを開催

- ・人体通信体験実験
- ・ラジオを作ってラジオの仕組みを知ろう
- ・画像処理技術を利用したメディアアートを体験する



プログラム

- ・君にこの謎が解けるか!? 自然発火の犯人を追え!!
- ・ゲームってどうやって作られているの?
- ・でんきをためて走らせよう! チキチキ! エコレース
- ・みつけた! キレイな水の作り方
- ・出動!! ふわふわパラシュート部隊 IN 本庄の空
- ・自分だけのモーターをつくろう



本庄ユニラブ2013

[主催] 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 ほか

- ・開け、ごま! 自動で動く魔法のとびら
- ・3Dの世界によこそ!
- ・コードが無くても動かせるワイヤレス給電の秘密!
- ・なにででんきつくるの? かぜでしょ! - かぜレース -
- ・水の力で電気をつくろう
- ・身近なもので電池を作ろう

国際理解学習授業 仁手小学校訪問

7月11日(木)、早稲田大学大学院国際情報通信研究科の留学生2名と共に仁手小学校を訪問し、6年生12名を対象に国際理解学習の授業を行いました。

児童達は、留学生の母国、中国(台湾)とベリーズについて事前に調べてその成果を発表してくれました。台湾については、位置や気候、そして主要な行事等を、手書きの地図や絵を工夫して使いわかりやすく説明してくれました。また、ベリーズについては、初めて知った児童が多く、国旗の説明や文化等、大変詳細に調べてありました。

中国の留学生は、母国語である中国語で挨拶を教えてくださいました。始めのうちはなかなかうまく言えなかった難しい発音も、何度か練習するうちに上手になり、留学生や先生方達から拍手を頂きました。

ベリーズの留学生は、クイズ形式で国旗や食べ物について質問を出しました。児童たちは、全員が見事に正解をすることができました。最後に皆で輪になりゲームをする時には子ども達も打ち解け、笑顔がみられるようになりました。



授業終了後、留学生達から「子ども達には驚かされました。」というコメントをいただきました。台湾の留学生は、子ども達の事前調査の奥の深さに感嘆していました。また、母国で先生をしていたベリーズの留学生は、日本の小学生はお行儀がよく、静かに話が聞けるとびっくりしていました。

担任の先生を通し、子ども達12名全員が、楽しい2時間を過ごした感想を伝えると、留学生達も「ぜひまた訪問したい!」と国際理解への意欲をみせていました。



EVEX2013およびスマートネットワークEXPOに出展します

2013年 9月25日(水)から27日(金)まで東京ビッグサイトで同時開催される電気自動車開発技術展(EVEX)・エヌプラス・スマートネットワークEXPOに、早稲田大学環境総合研究センター及び関係企業と合同で出展いたします。次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会、本庄スマートエネルギータウンプロジェクトなど、財団事業の紹介や研究会・プロジェクトの会員企業による自社製品の実演や展示を行います。期間中は非常に多くの来場者が見込まれ、プロジェクトや会員企業をPRするよい機会になることが期待されています。

■共同出展 早稲田大学 環境総合研究センター

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会

(株)秋山製作所
イー・ティー・エー(株)
KYB(株)
東京千曲産業(株)
ポーライト(株)

本庄スマートエネルギータウンプロジェクト

NTTデータカスタマーサービス(株)
(株)前川製作所
(株)早稲田環境研究所
日本電気(株)



昨年の様子

平成25年度次世代産業カレッジ開講のお知らせ

平成25年度次世代産業カレッジが今年度も開講されました。この講座は埼玉県が経営マインドを持った技術者を育成するために実施している事業で、県内11の理工系大学が支援機関としてカリキュラムを提供しています。早稲田大学からは新エネルギー分野で、話題のリチウムイオン電池など二次電池の現状と将来についての講座を提供しています。関心のある方ならどなたでも、ひとコマからの受講が可能ですので、是非奮ってご参加ください。

【講座 No.15】 2013 年 11 月 8 日 (金) 15:00 ~ 16:30

「二次電池の現状と将来展望」

蓄電池は、エネルギー問題の切り札のように騒がれているが、なかなか実用化が進んでいない。蓄電池の持つ特異的なコスト構造や産業構造などをふまえ、二次電池の現状と将来展望について解説する。

【講座 No.16】 2013 年 11 月 15 日 (金) 15:00 ~ 16:30

「リチウムイオン二次電池の最新動向と要素技術」

エネルギー密度の高いリチウムイオン二次電池の仕組みからその応用例、今後の展望について、最新のデータを元に開設する。

講 師：横島 時彦 主任研究員／准教授（早稲田大学 理工学術院）

場 所：北与野 新都心ビジネス交流プラザ4階 B会議室

URL: <http://www.saitama-j.or.jp/gaiyo.html>

本庄早稲田国際リサーチパークまでFAXまたはWebでお申込みください。

●FAX: 0495-24-7465 ●Web: <http://www.howarp.or.jp/news/20131008.html>

産官学連携コーディネーター着任

埼玉県の委託事業である「スマートエネルギー産業参入・産学連携支援事業」の実施を担当する産学官連携コーディネーターが6月3日付で着任しました。主な担当業務は、蓄電池システムの活用を含む本庄スマートエネルギータウンプロジェクトの推進や、大学等研究機関と地域企業のシーズ・ニーズの発掘・連携等となります。



産学官連携コーディネーター
佐藤 徹

この度、産学官連携コーディネーターとして着任いたしました佐藤徹です。青年海外協力隊への参加を皮切りに、国際協力機構（JICA）専門家、大学における海外研修員受入事業担当など、主に国際協力分野で長く活動してまいりました。異なる文化的背景を持つ人々とともに、開発途上国でプロジェクトを実施してきたことから、コミュニケーションスキルと突発事態にも対応しうる柔軟な調整能力を身につけてきました。主にプロジェクト実施にかかる調査や評価を担当するとともに、人材育成、研修業務に長く携わり、研修マネジメントのみならず、参加型研修におけるファシリテーターとしても一定の評価を得てきました。

今後はこれまでの経歴を活かし、会員企業の皆様の海外展開に向けた支援なども考えています。財団に来られた際は是非一度お声をかけて下さい。（佐藤）

本庄早稲田ビジネスプラットフォーム利用会員募集中！！

～ビジネス拠点をお探しの起業家・企業の方へ朗報です！～

当財団では、手軽に利用出来るレンタルオフィスを運営しています。ぜひ、ご利用をご検討下さい。



会費 10,000円/月（税別）

※6ヶ月前払い、駐車場利用可（1台分）

◆「本庄早稲田ビジネスプラットフォーム」のご紹介

シェアードブースと共有スペースは、起業準備中の方や、個人事業主、中小零細企業、本庄地域でビジネス拠点をお探しの方等にご利用いただけます。リーズナブルな価格で、貴社のオフィスとしてご利用が可能です。

◆便利で安心な立地条件

JR 上越新幹線本庄早稲田駅前、早稲田大学本庄キャンパス内に立地。24時間365日対応の警備体制により、セキュリティ対策も万全です。また、本庄早稲田駅前には大型ショッピングモールが有り、便利になりました。

◆基本サービスメニュー

ビジネス拠点としての住所、郵便物・宅配便の受領、FAX受信、来客受付、駐車場、オープンスペース、会議室、シェアードブース（机・椅子・ロッカー・メールBOXの利用）、有線・無線LANでのインターネット接続、モノクロプリンターの利用、講演会・ネットワーキングパーティへの参加。※見学も可能です。お気軽にお問合せ下さい。

●お問い合わせ・お申込先

本庄早稲田ビジネスプラットフォーム担当：温井

TEL: 0495-24-7455

E-mail: info@ioc-waseda.jp

<http://www.ioc-waseda.jp/>



公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011

TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465

<http://www.howarp.or.jp/>